

日本呼吸器学会に参加して

初期臨床研修医2年目 手島 由梨乃

初期臨床研修医2年目の手島由梨乃と申します。この度、第60回日本肺癌学会中国・四国支部学術集会で発表させていただきましたので報告いたします。

私が発表したのは、病理組織学的にも肺原発か転移か鑑別が困難であった、肺癌と食道癌治療後の肺腫瘍切除例です。肺癌や食道癌の肺転移は多発することが多く手術適応となる症例が少ないため、有用な症例報告が出来たように思います。コロナ禍でこれまでの学会発表は全てオンラインであったため、今回現地で発表することができ貴重な経験となりました。

最後に、この演題発表にあたり終始熱心に指導して下さいました呼吸器外科部長の原田洋明先生、共同演者の呼吸器外科・呼吸器内科・放射線科・病理診断科の先生方に、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。



※写真左から3番目

初期臨床研修医2年目 小林 昌央

7月8日、9日に山口県で行われた日本肺癌学会中国・四国支部学術集会に参加させていただきました。私は呼吸器外科から演題をいただき「16歳男性に発見された硬化性肺胞上皮腫の一切除例」という題で口演発表を行いました。20歳未満の男性に硬化性肺胞上皮腫が発症することが極めてまれであること、本症例ではPET-CT検査にてFDG集積を認めたことを中心に考察を加え症例報告させていただきました。

疾患に関する知識が乏しかったため何から手を付けたらよいかわからなかったのですが、指導医の原田先生には何度も相談に乗っていただき、また富吉先生や服部先生、安部先生をはじめ今回の学会と直接の関係がない先生方にもお力添えをいただいて無事に上げることができました。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

現地開催の学会発表は初めての経験で不安でいっぱいでしたが、準備してきたことを信じて当日は落ち着

いて発表をすることができました。残念ながら賞をいただくことはできませんでしたが、論文の形で医学雑誌に投稿させていただく予定です。

発表会場では協賛企業の医療機器展示スペースや地元の特産品試食スペースなどがあり、現地ならではの楽しさを味わうことができました。また高校や大学の同級生たちと久しぶりに再会し、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の学会発表では症例の発表という貴重な機会をいただき、得るものが多くありました。同時に反省点も多々あり、今後の症例発表や診療に活かしていきたいと思っています。



※写真左

初期臨床研修医2年目 福本 由美香

2022年7月に山口県で第66回日本呼吸器学会中国・四国地方会が開催されました。私は、「IgG4関連疾患に合併した肺腺癌の一切除例」という演題で発表させていただきました。

本症例はIgG4関連疾患と肺腺癌が合併しており、両者の関連性について、過去の文献を検索し、その症例との類似点などを踏まえつつ考察致しました。

本地方会では現地とオンラインのハイブリッド開催で、私は現地で発表致しました。学会発表は初めてであり緊張しましたが、優秀演題賞を頂き非常に嬉しく

思います。

最後になりましたが、今回御指導いただきました呼吸器外科 原田先生をはじめとする先生方に御礼申し上げます。



※写真左